

# 第40回 日向市 人権・同和問題市民講演会

演題

## 「今ここにある部落差別」

差別を許さない生き方を選ぶことができるように

部落差別のことを知らなければ、学ばなければ差別はなくなると思っていた。被差別部落に住んでいなければ、差別を受けることはないと思っていた。でも実際は…。  
ほんの少し、心を開くだけで豊かな人生になること。  
相手に寄り添い、相手の心に思いを馳せることでみえてくるものがあること。  
自らの生き方を選ぶことができるように、誰もが生まれてきて良かったと思える社会をつくるために  
皆さんと一緒に考えていければと思います。



講師

よし  
おか  
あや  
吉岡綾さん

部落解放同盟福岡市協議会 青年部

2023年(令和5年)

11月7日(火)

開場:午後1時00分  
開演:午後1時30分

入場  
無料

日向市中央公民館(日向市中町1-31)

- ◎託児あります(希望される方は事前にご連絡ください)。
- ◎手話通訳あります。

主催/宮崎県、日向市、日向市教育委員会、  
日向市人権・同和問題啓発推進協議会

(お問い合わせ) 地域コミュニティ課 人権・同和行政推進係  
電話0982-54-0227(直通)

人ある限り人権を。  
身元調査お断り!!



日向市は身元調査  
お断り運動を推進  
しています。

## ◆講師プロフィール◆

### 講師 吉岡 綾 (よしおか あや) さん

- ・福岡市の被差別部落で生まれ育つ
- ・高校卒業後、部落差別を受けるかもしれない事への恐怖から地元を離れる
- ・21歳の時に受けた部落差別をきっかけに解放運動に取り組むようになる
- ・2005年から2017年まで部落解放同盟福岡市協議会で専従事務局員として活動する
- ・2005年から福岡市内の行政・企業・学校を中心に講演活動を始め
- ・2009年福岡県人権研究所特別研究員となる
- ・2009年と2021年に「部落の心を伝えたい」ビデオシリーズに出演する

吉岡さんは、2017年の第34回日向市人権・同和教育研究大会で講演されています。そのときの参加者の感想を一部紹介します。

「部落差別について、ずっと頭に入ってきました。差別について勉強することは、やはり大切ですね。もっともっと聴いてみたいです。」



「とても身近な問題としてとらえることができました。話がよく伝わりました。理解しやすかったです。」

「部落差別を身近なこととして、今現在のこととして受け止めることができました。一人ひとりの価値観や意見は大切だけれど、そこに正しい理解や知識があるか、ということを考えさせられました。」



「部落差別問題は、自分とは関係のない話とっていましたが、そういう意識が問題であると感じました。」

「差別する人がいるから差別は起きる、という見逃しがちな当たり前のことを確認できました。」



## 12月4日～10日は人権週間です

人権週間とは・・・

昭和23年(1948年)12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標ないし基準を国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められています。

法務省の人権擁護機関では、昭和24年(1949年)から毎年、人権デーを最終日とする1週間(12月4日～12月10日)を「人権週間」と定め、その期間中、各関係機関及び団体と協力して、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。